

苫小牧市教育委員会会議録

会議区分	苫小牧市教育委員会 第 13 回 定例委員会
日時	平成24年10月26日 自 15時 至 15時35分
場所	勇武津資料館 研修室
出席委員	委員長 上原 毅 委員 佐藤 郁子 委員 佐藤 守 委員 植木 忠夫 委員 和野 幸夫
欠席委員	
会議録署名委員	和野 幸夫 教育長
会議録作成職員	総務企画課総務係主事 田中 亮太
事務局職員	学校教育部長 斉藤 章吾 学校教育部次長 澤口 良彦 スポーツ生涯学習部次長 木戸 克史 指導室長 中川 恵介 総務企画課長 戸村 真規 総務企画課総務係長 三橋 大輔 総務企画課総務係主事 田中 亮太
会議案件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1	委員会開会の宣言（上原委員長） … 15時
2	会議録署名委員の指名（和野教育長）
3	会議録の承認 （上原委員長） 第11回定例教育委員会（平成24年9月27日開催）及び第12回臨時教育委員会（平成24年10月11日開催）の会議録について、何か質疑等はあるか。 （一同「なし。」の声） －会議録どおり承認－
4	教育長の報告 私から9月27日以降の事業等の報告をさせていただきます。 始めに、10月2・3日に、平成23年度の一般会計の決算委員会が開催された。教育関係では、6名の委員から質問をいただいた。内容については、とまチョップを始めとする緑陵中学校の取組について、高い評価をいただいた。また、給食費の収納や給食費の口座振替に係る印刷費の公費負担等について質問をいただいた。その他では、統一学力テスト、道徳教育、SSW、学校トイレの様式化、学校図書司書の配置についての質問があった。また、スポーツ・生涯学習関係では、日新温水プールの利用料等についての質問があった。中でも、SSWの配置については、前向きな答弁をしている。教育費については特に大きな課題もなく承認をいただき、また、一般会計の決算についても、全会一致で承認をいただいた。

次に、学校行事では、10月は小学校の学芸会・学習発表会のシーズンであった。
10月27日に行われた大成小学校と沼ノ端小学校の学芸会・学習発表会にて大きな学校行事はほぼ終えて、落ち着きを取り戻しながら、各学校では校内での授業研究を通して指導力の向上を目指し、研修する季節に入ることになる。
文化関係では、10月13日の市民文化祭開会式、続いて市民合唱祭をスタートに、11月18日の市民参加演劇祭まで、多くの市民文化祭事業が展開される。昨年度は、約1万8千人が観客や役員、出演者として関わったと聞いている。また、先日の20日には上原教育委員長と私とで、苫小牧高等商業学校の創立60周年事業に出席させていただいた。記念講演会では、苫小牧出身の民謡歌手・伊藤多喜雄さんが講演をされていた。錦岡での貧しい生活の中でも、両親に対する尊敬の思いや、集団就職により上京し、苫小牧で培った生活の知恵を糧に頑張った姿等が熱っぽく語られた。多くの生徒が聞き入っており、中学生にも聞かせたいと思った内容であった。
最後になるが、今後の主な日程で、11月1日に市制功労賞の表彰式、11月3日には文化賞の表彰式、10日には若草小学校の60周年記念式典、17日は啓明中学校の30周年記念式典が予定されている。
(上原委員長) 何か質問等はあるか。
(一同「なし。」の声)
5 議 案
第1号 教育委員会職員の処分について (諮問)
第2号 教職員の処分について (報告)
(上原委員長) 第1号・第2号ともに人事案件であるので、会議規則第21条の規定

により秘密会としたいと思うが、よろしいか。

(一同「はい。」の声)

—原案どおり決定—

6 協 議

第1号 小学校の通学路の安全性について

(指導室長) 小学校の通学路の安全性については、先般、国から調査の指示があり、市教委として安全性の調査を行った。通学路の安全対策においては、各学校の通学路点検の結果から、危険箇所であり、かつ、警察や道路管理者との行動点検が必要とされた市内小学校6校区・11か所について、7月30日と8月2日の2日間、警察と道路管理者(市の道路維持課)と地域住民、学校PTA、それから教育委員会による通学路の危険箇所の行動点検を実施している。その結果がお手元の資料にあるが、小学生の通行がない1か所を除く10か所で、対策が必要と判断した。今後の具体的な対策について、警察に依頼している部分については、お手元の資料の2ページ目の錦岡小学校区になるが、警察等で横断歩道の設置を検討している。それから道路管理者、すなわち市の道路維持課になるが、資料6ページの西小学校区だが、危険と判断された箇所について、道路反射鏡の調整をした。これは既に済んでいる。それから、道路に外側線を入れるというところが2か所ある。これは年内を目途に実施する運びだ。それから、同じく道路管理者である市の安全安心生活課だが、通学路であることを示す看板の設置をするところが1か所につき、これは年度内の3月を目途に、設置を予定していて、資料4ページの澄川小学校区内になる。それから、同じく道路管理者で

ある市の道路河川課のほうにお願いしているが、道路整備により交差点改良を実施する予定が1か所あるが、これは年度内に着工という見込みだ。また、今後の安全点検についてだが、各学校では年1回以上、通学路の安全点検を実施している。そうした結果を踏まえて、関係機関と連携を図りながら、今後の適切な対策を講じて参りたいと考えている。なお、今回小学校でということで、「中学校ではどうなのか。」という御質問もあろうかと思うが、小学校の通学路を網羅して点検することによって中学校区の通学路も全てカバーできるということで、小学校区を対象に点検を実施したところだ。

(上原委員長) 質疑に付す。

(佐藤守委員) 資料に書かれている以外の他の小学校についても点検をするのかどうかと、まちかどミーティング等でも「ゾーン30(警察を通して、子ども達の通学路では速度を落とすなさい、とする道)の設置を推進している。」と出ていたが、市教委としても連動した動きをしていくのかどうか。それから、外側線を引くというのがあったが、ただ白い線を1本入れるだけだと思うが、各都市の場合を見ると、青色を使うなど、色分けをしているところがある。そういう方法だと分かりやすくいいかと思う。そのようなことも考えられているのかどうか、お聞きしたい。

(指導室長) まず1つ目の他の小学校区について、今回危険箇所には挙がった6区・11か所の他にも、1年間の中で色んな状況に変わる場合も考えられる。全ての小学校には「年に1回以上通学路の点検をするように。」と指示を出しているので、今回の点検の結果で挙がった学校以外にも実施するという事で御理解いただきたい。

それから、苫小牧市内でのゾーン30の設置について、このことについては今回の点検では挙がってこなかった。ただし、「まずはできることからスタートしていく。」という考え方に立ったので、今回は車の通行量の多い箇所だとか、あるいは点検結果による設置ができない箇所については、教師の立ち番で子どもの安全確保を図っていくという考えだ。それから3つ目の外側線について、道路維持課のほうで判断して、お願いしている部分だ。今後、必要に応じて安全点検の中では関係機関と連携を図っ

ていかなければならないので、委員がおっしゃった点についても、今後検討してまいりたいと考えている。

(佐藤守委員) 「小学校区を点検すれば中学校区も重なるから大丈夫。」ということだが、中学校の場合は自転車利用の部分が出てくるので、小学生とは変わった見方をしなくてはならない部分がある。中学校区も点検していただくとと思うが、要望として、中学校の自転車についても点検をお願いしたいと思う。

(上原委員長) 他に質問等はあるか。ないようなので、質疑を終結する。

7 そ の 他

な し 。

8 委員会閉会の宣言 (上原委員長) … 15時35分